

# 平成 30 年度 事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人遠野まごころネット

## 1 事業の取り組み概要

東日本大震災から 8 年が経過し、岩手県内の災害公営住宅の整備、大規模な宅地の嵩上げを計画した陸前高田市や大槌町も嵩上げをほぼ完了し、被災者の住宅再建も進み、失われたコミュニティの再建、取り残された被災者の支援やなりわいづくりが地域の課題として残されました。

当法人の事業は、被災者の中でも弱い立場の高齢者・女性・障がい者等に寄り添い、見守り、雇用の確保、地域コミュニティづくりサポート活動等を掲げ、「被災地復興支援」、地域の特性を生かす「風土を生かした地域づくり」、第六次産業化の推進、交流人口の拡大、雇用の確保に取り組みました。

以下は、主な事業の概要について説明します。

- (1) 最初に就労支援事業について、障がい者就労を目的とするパークレイズ就農支援プログラムの助成を受け、ワイン用ぶどう生産に力を入れたほか、まごころグッズ等の製作、新商品の企画、販売収入の拡大に等に努め、事業内容の充実、利用者の掘り起しを進めました。

中でも釜石天洞・遠野寒風地区のぶどう園の状況は、当法人の独自醸造が実現したことから国産ワインブランドを目指し、ぶどうの生産量拡大による醸造量確保のため、寒風地区の植栽増とぶどうの生産技術、加工技術のノウハウの向上に取り組み、併せて、県内沿岸被災地及び遠野産のリンゴを原料とするシードル生産も行い、750 ミリットル瓶換算で 1,000 本を超える醸造量が確保できました。

- (2) 人事院研修、東京海上火災(株)、アセアン政府研修を始めとする個人、企業、団体などのボランティア受け入れによる被災地支援活動は、大槌地区の「まごころの郷」農園、釜石天洞・遠野寒風地区のぶどう園、遠野米通地区の圃場等の生産活動への受け入れを行い、就労支援事業利用者を始めとする被災地等住民との交流を進めました。

西日本豪雨支援では、事務局の細川サブマネージャーを岡山県倉敷市に派遣し、ボランティアセンターの運営支援を行いました。

- (3) 大槌町の被災住宅玄関に流れ着いた 3 株の稲から育てた「大槌復興米」は、JR 東日本、キリンビール、上閉伊酒造、遠野市、当法人の 5 者によるプロジェクトがビール醸造原料に利用し、発売されました。その他にも味噌や清酒の醸造、大阪富田林市学童の栽培体験授業等に発展しています。

- (4) 限界集落の地域おこしプロジェクト「米通結いとりの郷」は、地元との協働で運営を進め、ボランティアの受け入れ、協力者等の尽力で、米通り産の「いわてっこ」を生産し、新年度のどぶろく製造が予定され、これらの活動の実績が認められ、遠野市から表彰を受けるなど成果を挙げたところです。

- (5) 大槌町金沢地区で有志によるクレソン生産活動も実現し、30 万円以上の売り上げを確保し、生業の創造、雇用創出、地域振興に寄与できたものと評価しています。

ぶどう園、バジル、クレソン生産、どぶろく製造は、6 次産業化を目指した取り組みの一環と位置付けています。

- (6) 関東事務所の在り方、被災地事業者の支援については、早期にあるべき方向を決めるとの方針のもと、30 年度も全国商工会連合会の補助を受け、アンテナショップ運営を行い、三陸地域や熊本地域等の被災地事業者の商品の販売を通じて、首都圏から被災地への経済支援に努め、関

東事務所機能も果たしてきたところですが、運営費を賄うことができない状況を踏まえ、平成31年2月末を以って閉鎖しました。

- (7) 今年度の三陸海の盆は、宮城県石巻地区で開催し、祭り支援、郷土芸能の伝承・復活支援、観光資源の紹介・プログラム化等の目的に沿う形で、地域の方々のご協力もいただき、2,000人以上の参加者で、成功裡に終わることが出来ました。
  - (8) ハード事業の復興の陰で心配される被災者の孤立、悩み相談等が課題となっている状況から県の自殺対策事業の補助も受け、相談事業等も継続実施しました。
  - (9) 「サンタが100人やってきた！プロジェクト」も釜石市および大槌町で12月23日に実施し、全国から100人を超えるボランティア等の協力で交流に取り組みました。
  - (10) 被災地子ども支援プロジェクト「まごころサンタ基金」は、計5人に、200万円の奨学金給付事業を行い、より支援を必要とする学生等を手厚く支援する制度も継続しました。
  - (11) 地域産業パートナーシップ協同組合については、当法人も組合員として出資し、組合の設立認可を得て、国外の現地協力企業の設立にも目途が立ち、ネパール、インドネシア等からの人材受け入れも近い状況にあります。
  - (12) 事務局体制の充実、強化は、効率化を優先して、関東事務所、本部事務所の見直しを行い、本部を遠野市材木町に移転しました。
- 最後に今までの活動に対して復興庁等からの表彰等も受賞していますので資料として掲載します。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	時期	場所 地域	従業 者数	対象範囲 予定人数	支出見込 額(千円)
海外を含む被災者支援のための情報収集、発信、コミュニティ再生、なりわい創造支援事業	自然災害の被災地、被災者への復興支援活動の企画立案および実施（インターネット等による情報提供・交流、ボランティア派遣、支援物資の提供、産業再生・アドバイザー斡旋等）	通年	岩手県沿岸被災地、熊本地方、岩泉町等	3	岩手県沿岸被災地、熊本県、岩泉町等の被災者	31,500
	海外での被災地支援として、ネパール等の大地震被災地等の支援活動の展開、		ネパール国等		ネパール約500人、	740
	支援活動から得られるノウハウの蓄積並びに今後の自然災害時に活かせる支援活動マニュアルの策定、被災地研修の受け入れ		岩手県沿岸被災地等		人事院研修、企業研修等約200人	310
	総合相談支援事業、メンタルプログラムの企画立案及び実施、助け合いセンターの運営		岩手県、大槌、遠野			3,900
	被災地支援物品販売事業 アンテナショップ運営事業、まごころグッズ等販売による風化防止及び内職支援、		通年		事務局、川口市等	3
指定就労支援事業	障害福祉サービス事業所の運営 (就労移行支援、就労継続A、就労継続B)	通年	釜石市・大槌町ほか	12	釜石市、大槌町 外利用者	32,850
支援団体間の交流連携のためのネットワーク構築事業	被災者、支援者間の交流促進及び支援者同士の連携を図るまごころネットワークづくり、青少年を対象とした防災学習ネットワーク事業、学習支援事業	通年	全国、ネパール等	2	全国、ネパール等	1,610
自然資源調査・活用事業	自然資源の調査、観光産業（自然探訪ツアー等のプログラム化）の振興、自然資源の維持・保全の推進、交流人口拡大モデル事業等の実施	通年	遠野市、三陸沿岸地域等	2	遠野市、三陸沿岸地域等	3,500
農林水産物の生産加工および販売事業	6次産業化事業の一環としてワイン用ブドウ、パジル等の栽培と商品開発、食品加工所等の運営、たすけあいセンター、未来工房の運営等、被災地等の原料を使用したシードル、ワインの委託醸造、販売事業及び醸造免許の取得	通年	釜石市、大槌町、遠野市	3	釜石市・大槌町・遠野市、	5,000
					支出見込金額 (千円)	99,410

### (2) その他の事業

今年度、実施していない。